市内屋内プール所有事業者へのヒアリング実施結果

資料３

施設名称		京王アリーナTOKYO	調布市総合体育館屋内プール	ルネサンス仙川２４	ティップネス国領	アクラブ調布
施設について	プールのレーン数	50m×８レーン コース中間にある可動壁を使用することで、50mを２分割し、25m×１６レーンとしても使用可能	25m×6レーン	20m×４レーン ※バブル期に建設され、築30年。大人向けスポーツクラブとしてスタートし、内装も高級仕様でコンパクト。前身はキリンスポーツクラブ。	25m×５レーン ※築39年	２５m×６レーン ※端の１レーンのみ、高さ４０ｃｍ程度の足掛けステップがある 営業→６０周年 建物→築５０年越え（内装等改修済） プール（躯体）→築５０年越え
	水位調整の可否	可動床により、水深0～3mまで対応可能だが、レーン貸しの場合は水深1.1mで固定し、フロア台も使用不可。	水深1.1～1.4m フロア台（H=400）を設置することにより対応可能 12台所有	水深0.9～1.25m フロア台（H=400）を設置することにより対応可能	水深1.2m フロア台（H=400）を設置することにより対応可能 実績では2m×5m	・プールを縦に見て、中心は１．３m、端は１．１ｍ （水深表示より１０ｃｍ程水位を下げている） ・可動床ではない ・高さ４０ｃｍの底上げ台が３０台ある （１m×２m、１レーンが埋まる数、重い）
	使用可能範囲 （一般客との区分の可否）	レーン貸しとなるため、一般客と同時利用。 火曜日から土曜日までは２５mで２レーンまで、日曜日及び月曜日は５０mで１レーンのみ 一般利用客も居るため、全面の貸し出しは不可。また、大きな大会などで年数回は全面を貸し出しているが、条件があり、アクアテックセンターや東京体育館のプールが使用できなかった場合に限り、使用可能となる。	1～3レーンの貸切可能。 学校利用となれば、全面貸切が現実的。プログラムや団体利用があるため、時間帯によっては検討可能であるが事前協議が必要。	営業時間内の場合、一般客と同時使用となり２コース程度まで貸し出し可能。ただし、休館日であれば全面使用も検討可能。	休館日（月曜日）であれば全面利用可能。 他自治体では休館日以外でも一般客と同時使用している事例有。	営業開始前の時間帯であれば使用可能（営業中は不可）
	１コマ当たりの収容（授業） 可能人数	２５mで１レーン２０人まで ５０mで１レーン４０人まで いずれにしても最大４０人まで	ジュニアスイミングスクールは3コースで40人募集。 全面貸切の場合、1コース13人程度で約80人となるが、更衣室やトイレの数を考慮すると1コース10人程度が限界。	泳力にもよるが、７０人程度は同時利用している。 ジュニアレッスンでは１コース２０人程度	インストラクター1人当たり児童生徒10～14人で実施している。 ※法人のルールに則りインストラクターの配置基準を設けている。 受け持つ児童・生徒数は泳力によって上下する	１００人程度であれば対応可能 例）晃華学園小学校の３・４年生、５・６年生をそれぞれ合同で受け入れた実績あり（約１２０人）※京王線国領駅から徒歩
	使用可能曜日及び時間帯	平日・土曜　９：00～22：30 日曜・祝日　９：00～21：30 ※利用の７ヶ月前の２０日から利用申請が可能なため、それ以降だと他団体で予約が埋まってしまう可能性あり。	９：00～20：30 毎月第１・3月曜日が休館 ・水の入替・清掃期間（2月）、市民スポーツ大会水泳競技開催（8月末）、スポーツ協会主催のスクールプログラム実施時間帯（土日・夕方）、市内障害者団体利用時間帯（14時～）については利用不可若しくは調整が必要。 ・プログラムや団体利用もあるため、曜日・時間帯を固定した受入は難しい。週によって曜日を変えるなどして、利用団体が公平に利用できるようにしたい。 ・プール利用予約は2ケ月前から可能。常時利用している団体の曜日・時間帯を外してもらいたい。	基本的に月曜定休日10：00～使用可能。 営業日も対応の可能性あり。 営業開始は午前10時からだが、営業開始前の利用も対応できる。	基本的に月曜定休日に使用可能。時間帯については学校の要望に対応可能。 営業日も対応の可能性あり。 他自治体との実績では休館日に水泳授業を実施しており、時間帯も自治体の意向によって対応可能。 関東圏の店舗は水曜日・木曜日の休館日が多く月曜日が休館日である国領店は、インストラクターを集めやすい。	月曜日　午前９時～午後２時 火曜日　午前９時～午前１０時３０分 水曜日　〃 木曜日　〃 金曜日　〃 土曜日　不可 日曜日　不可
	駐車場の有無	利用者用の駐車場は車高高さ２．１m以下で車長制限もあるため、メインアリーナ北側の関係者駐車場を使用。しかしながら、メインアリーナの稼働率が９０％なので、メインアリーナの利用状況により使用できない場合もある。その時は、味の素スタジアム側の駐車場や味の素スタジアム北側にあるバスロータリー（有料の区画貸し）に駐車することは可能。	第1駐車場：25台（無料）※敷地内 第2駐車場：50台（有料）※都立神代植物公園内 ※マイクロバスは第1駐車場のみ駐車可能	無し	５６台収容可能、２時間まで無料。 マイクロバス専用の駐車スペース有り。	・２箇所あり（１５台用、４台用） ・大型バスの駐車は、営業時間外であれば可能 ・隣接する調布若竹幼稚園のスクールバス１台分のスペースは空けておく必要がある。
	マイクロバス等の所有の有無	無し	無し	マイクロバス等を所有していないため、再委託で手配することは可能だが、市で直接手配した方が経費は掛からないと思う。	マイクロバス（27人乗り）を2台所有しているが、運転手は再委託となる。	・マイクロバス×３台（２９人乗り×２台、２７人乗り×１台） ・１５人乗り×１台 ・ハイエース×１台（１０人乗り） ※いずれも運転手込みの人数
	更衣室及びロッカーの 使用可能人数	プール用・トレーニング用合わせて男女800人用以上 一般客と同時利用	ロッカー台数：男子94台、女子102台 同時利用人数：20人程度	一般客とは別室でジュニアレッスン用の更衣室が男女有り。２０人同時利用している。ロッカーはオープンロッカーで横８列縦５段の４０人分あり。	ロッカー数が、大人用で男女各100人分、子供用で男女各100人分、計400人分。 授業の入替え時間帯等も考慮して大人用・子供用を利用し導線も分けて混乱しないよう事業者側でコントロールが可能。	男女１部屋ずつ更衣室あり 男性用更衣室：鍵付きロッカー４５台、鍵なし１２６台 女性用更衣室：鍵付きロッカー１００台、鍵なし１０８台
	見学者の待機場所	プールサイドからの往来は出来ないが、２階に観客席がある。ただし、付き添い者必要。	見学席あり	プール室に面した観覧席などが無いため、別室のスタジオのモニターで授業内容を視聴することは可能。ただし、スタジオそ使用するのは営業時間外や休館日に限る。	プール横（25m）にガラスで区切られたギャラリー有り。プールサイドとの出入りも容易。冷暖房及び座席完備。	・ガラス越しに座って見学できるギャラリーあり （５０～６０人収容可能、プールを見下ろす高さ） ・プールサイドにベンチ6台・一人用椅子２０～２５脚
水泳指導員の配置について		水泳指導員の手配は無いが、市で手配するインストラクターを派遣することは問題なし。しかし、笛やメガホンなどの使用は不可。また、レーンの空き状況によるが、プールサイドに面したコースを確保できる確約は無い。なお、団体利用は２時間までなので、利用者（インストラクター含む）は一度着替えた上で、退場してから再度入場する必要がある。	屋内プールの利用ルールを厳守することが前提であれば、特に問題なし	委託料の支払があれば可能。教員が評価を行えるよう、事前に学習指導要領との擦り合わせを行っている。他自治体の事例では学校によって、インストラクターにお任せという場合や、逆に中学校であれば専科の教員が指導する場合もある。教員がプールに入るかは様々。	インストラクターの配置可能。学習要領と擦り合わせ可能。子どもの到達レベルの相談や指導日誌のフィードバックも可能。 その他、既存のカメラ（10基程度あり）で撮影した映像や水中カメラの映像をタブレットで見て確認することも可能。	形態によっては可能だが、人員はすぐには集まらない。また、採用後には、研修期間を要する。 市で募集をかける、若しくは委託をした方がスムーズだろう。
その他	近隣市などでの実績	都内の私立高校の水泳部が使用しているが、学校教育での利用は無し。	学校授業での利用無し。部活動や一般サークル登録しての利用のみ	世田谷区、大田区、足立区、府中市、国分寺市の店舗で実施している。また、川崎市は学校にインストラクターを派遣している。	・近隣では葛飾区、川崎市。その他、名古屋市や藤枝市でも実施。 また、川崎市は学校にインストラクターを派遣している。 ・会社として、自治体からの依頼を積極的に受ける方針。	調布→一昨年、狛江市からヒアリングはあったが実現していない 八王子・堀之内→２年前から八王子市の一部学校の授業で活用 稲城→川崎市からヒアリングはあったが実現してない
	着衣水泳など授業内容について		【着衣水泳について】 これまで実施したことがないため要相談。指導員が見本を見せる程度であれば許容範囲。児童生徒全員での実施は不可。 【その他】 ・Ｒ１０年度若しくはＲ１１年度に大規模改修（内部含む）を予定しているため、工事期間中は実施不可能。 ・水泳授業を実施する場合には、前年度に事前協議が必要。 ・外部補助員を配置することはできないが、サポートの人員配置であれば協議可能。	教員用の研修、天候不良時の座学プログラム、着衣水泳も実施している。	・着衣水泳も実施している。 ・会社として、自治体からの依頼を積極的に受ける方針。 Q．学校授業での見学者の増加が課題の一つと認識している。事業者側の実績を踏まえ見学者が減ったという事例などあるか？ A．学校の授業では１度もプールに入ったことがなかった児童が初回はプールサイドでの見学をして「次からはプールに入ってみよう」と声掛けを行うなどして次からプールに入り授業に参加したという事例もある。 プールに入りたくない理由としては、暑さ寒さのほか、虫がいるなどがあげられる。それらが屋内プールであることで解消されている。	綺麗な衣服・靴であれば、着衣水泳も可能